



琴似支店新車第一課の亀田義樹マネジャー(右)と談笑する小川さん

【取材協力】 札幌トヨタ自動車株式会社琴似支店
札幌市中央区宮の森3条東1丁目1-46
電話 011-621-1111



お客様を見まもりながら ずっと営業の仕事を続けたい

新企画「輝く彩女図鑑」の第1回目に登場いただいたのは、札幌トヨタ自動車 琴似支店に勤務して3年目になる小川あゆ夏さん。朗らかな笑顔が絶えることなく、またハキハキとした受け答えに明るく快活な人柄がにじみ出ている。入社以来、クラウンをはじめハイブリッドのプリウス、アクアなど人気車の販売を担い、顧客と直接接する日々を送っている。

就職活動を始める以前から、将来は営業職へ進みたいと考えていたという小川さんは、大学在学中に国際秘書士の資格を取得。その過程で、社会人としての作法や常識をもしっかりと身につけていった。

モノ作りと顧客を繋ぐ最前線とも言える営業の場に魅力を感じた理由は、「営業担当者であれば、普段は接することができない方々と触れ合うことができます。その中で、通常では知りえないことを学べると感じました。それが、自分自身を人として成長させてくれるのではないかと考えました」とのこと。その前向きな姿勢が目にとまり、同社には即戦力として迎えられるようだ。しかし「今だから言えることですが、内定をいただいた時点では全くと言ってよいほどクルマの知識を持ち合わせておりませんでした。当然ですが、そのあとは必死に勉強しました」という。クルマ関連の本を読みあさり、工場に足を運んで実地で学び、また上司や諸先輩はもとより「お客様からも本当にたくさんのお話を教えていただきました」と振り返る。

知識の積み重ねと経験は自信となり、社内でも評価を上げて

【プロフィール】小川あゆ夏(おがわ あゆか)さん。
札幌市出身。25歳。札幌国際大学人文科卒業。2011年4月入社。マイカー「アリオン」。国際秘書士資格取得。

「いった小川さん。「販売成績は優秀で、お客様とお付き合いもしっかりとこなしてくる。彼女は当社にとってたいへん大きな戦力です。これからも女性らしい視点や心配りを生かして活躍してほしいですね」と、直属の上司であるマネジャーの亀田義樹(かめだ よしたつ)さんも、彼女の将来に大きな期待を寄せる。

そんな小川さんが、仕事のうえで意識していることを尋ねると「入社当初、先輩にアドバイスをいただいたことなのですが、曖昧な言い方をしないよう常に心がけています。特に、「たぶん」だとか、「だと思います」といった言葉は禁句です」という。

そして、万が一不明な点があれば、顧客の目の前で資料などを用いて確認するように努めているそう。それは、正しい情報をしっかりと伝えたいという思いの表れであり、またユーザーからの信頼を損ねないための、小川さんなりの処世術と言えそう。

小川さん自身が現在抱いている将来像については「入社当時、身重の奥様と一緒にいらしたお客様が、次にお見えになった時には赤ちゃんご家族3人で、そのうちお子さんがショールームでハイハイをするようになって、その次には歩くようになる。そんなご家族を含めて、お客様一人一人をこの先も見まもらせていただきたいと思います。とにかくずっと営業の仕事を続けていきたいですね」と思いを語る小川さんの笑顔は、まさに輝いていた。

知識の積み重ねと経験は自信となり、社内でも評価を上げて

仕事に輝く彩女図鑑

ディーラー編 Vol.01

取材・写真/青柳 健司(フォトライター)



女性時代到来と言われるいま、ビジネスの線で生き生きと鮮やかに活躍している「彩女(さいじょ)」たちの思いを綴る。これまでクルマをつくる人、売る人は男性が中心。モータリゼーションも、男社会が成し遂げたものと言える。しかし、これからのクルマ社会は女性の視点や活躍なくして成長も望めない。いま、自動車ディーラーでは女性のセールスコンサルタントやショールームレディが日々活躍し輝いている。まずは、そんな彼女たちの素顔と活躍ぶりを紹介していく。

第1回
札幌トヨタ自動車
琴似支店 営業スタッフ
小川あゆ夏
さん